



作成日：2011.7.11 更新日：2015.4.1

キーワード

少子化 人口 人口動態 出産 育児 出生率 公共政策
合計特殊出生率 未婚化 晩婚化

関連する授業：「家族社会学」（保健福祉学部）
「社会学」（短期大学部）

>>> 入門的な情報源 <<<

そもそも「少子化」とはということなのか、おさえておきましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『現代用語の基礎知識』自由国民社 毎年発行	R813.7/G	本館
『社会福祉用語辞典』中央法規 2012	R369.033/C	分館
『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規 2007 → “Ⅱ 社会福祉の展開基盤 2 社会構造”	R369.036/E	分館
『社会学事典』丸善 2010 → “家族の社会学”	R361.033/N	本館
『事典 家族』弘文堂 1996	R367.3/H	本館

「聞蔵ビジュアルⅡ」の「知恵蔵」も利用できます。（インターネット・学内のみ）

>>> 図書を探す <<<

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

334.3	人口問題・人口政策	364.1	社会政策
367	家族問題	369.4	児童福祉・母子福祉

■OPACで探す

→「書名」に“少子化”と入れてみる。「内容細目」にチェックが入っていると、書名に“少子化”の語句がなくても件名などから見つかることがあります。

→配架場所が研究室の場合は、その先生の研究室に伺ってお願いしましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『子ども手当』と少子化対策』江口隆裕 法律文化社 2011	334.3/E	本館
『少子社会日本 もうひとつの格差のゆくえ』 山田昌弘 岩波書店 2007	B334.31/Y	本館・新書
『超少子化—危機に立つ日本社会』鈴木りえこ 集英社 2000	B334.31/S	本館・新書
『データブック 人口』西川潤 岩波書店 2008	334.3/N	本館・ ブックレット
『少子社会の子育てカー—豊かな子育てネットワーク社会をめざして』 高野良子ほか 学文社 2013	369.4/T	分館
『スウェーデンの少子化対策』谷沢英夫 日本評論社 2012	364.14/T	分館
『子どもが減って何が悪い！』赤川学 筑摩書房 2005	B334.31/A	研究室

【授業のために教員が薦める図書】

資料情報	請求記号	配架場所
『社会調査から見た少子高齢社会』金子勇 ミネルヴァ書房 2006	367.7/K	分館・研究室
『少子高齢社会のみえない格差』白波瀬佐和子 東京大学出版会 2007	334.31/S	研究室

本学にはない図書も探してみましよう。

- NDL-OPAC 国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。
- Webcat-Plus 「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。
- CiNii Books 「大学図書館の本をさがす」のところから日本の大学図書館の図書・雑誌を検索でき、所蔵館も表示されます。
- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

>>> 雑誌・雑誌記事を探す <<<

テーマに関連した研究を進める上で、論文や雑誌記事は欠かせません。出版されるまでの時間が短いのでタイムリーな話題が掲載されています。

■実際の雑誌から関連記事を探す

【図書館で所蔵している雑誌】

資料情報	所蔵年	配架場所	Web目次
『社会保障研究』 国立社会保障・人口問題研究所/季刊	1983-現在	分館	○全号(本文あり)
『社会保障』 中央社会保障推進協議会/隔月刊	2005-現在	分館	○2013年-
『世界の児童と母性』 資生堂社会福祉事業財団/年2回	2005-現在	本館	○2009年- (本文あり)

→各号の目次をコピーしてまとめてあります。バックナンバーを探すのに便利です。

→ “Web目次” 欄に○があるものは出版社サイトからバックナンバーの目次が見られます。

(論文・記事の全文が提供されているものもあります。)

《上記以外の雑誌で特集記事に「少子化」が取り上げられたものの例》

雑誌名	特集記事	巻号、刊行年	配架場所
『月刊福祉』	少子化と子育て支援	96(9), 2013	分館
『公衆衛生』	超少子化と向き合う	73(8), 2009	本館
『子どものしあわせ』	少子化時代と子育て	668, 2006	本館
『周産期医学』	少子化時代のファミリープラン	38(4), 2008	本館
『厚生指針』	少子化に関連する統計集	16(増), 2006	本館
『賃金と社会保障』	少子化対策は適切か	1496, 2009	分館

■雑誌記事や論文を探す

- CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。
→ 「少子化」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。(一例)

少子化対策としての子育て支援の現状と課題
畑山みさ子 宮城学院女子大学発達科学研究(10),63-67,2010

[CiNii-PDF - オープンアクセス](#)

[CiNii Link1](#)

このように、「[CiNii-PDF](#)」「[機関リポジトリ](#)」「[CiNii-Link1](#)」というマークがついていれば、全文を読むことができます。(有料のため見られないという例外もあります)

「[CiNii-PDF](#) 定額アクセス可能」の場合は、学内であれば、閲覧が可能です。

>>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門紙は次のとおりです。

●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲	配架場所
朝日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度	本館
北海道新聞	一般紙(ブロック紙)	過去1年程度	本館

毎日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度	本館
読売新聞	一般紙	過去1年程度	分館
産経新聞	一般紙	過去3ヶ月程度	分館
福祉新聞	専門紙	2005.4-現在	分館
日本経済新聞	専門紙	過去3ヶ月程度	本館

*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。

(1948.1-2004.12は恵陵館書庫、2005.1-2011.3は本館)

☀分館には「少子化」に関する新聞記事ファイルがあります。

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルⅡ」(学内のみ)～キーワード・日付などから検索できます。

→「少子化」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。(一例)

出生率 1.39、上昇傾向 自然減、初の10万人超 2010年
2011年6月2日 朝刊 5 総合

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、白書や統計・法令などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『厚生労働白書』→26年度版第2部第1章に“子どもを産み育てやすい環境づくり”など。厚生労働省のHPから見ることができます。 http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/	R498.1/K	本館
『女性白書』→2007年版では“少子化と女性”がテーマ	R367.21/J	本館
『子ども資料年鑑』→“少子化と子育てを取り巻く環境”など豊富な資料が載っています。(日本子ども家庭総合研究所)	R367.6/N	本館
『少子高齢社会総合統計年報』→少子高齢化社会に関するあらゆるデータを掲載。	R365.5/S	分館
『保育白書』→2004年以降少子化・出生率に関する記述があります。	R376.1/H	本館
『子ども・子育て白書』→出生率などの動向や子ども・子育て関連施策についての報告書です。内閣府少子化対策のページからも見ることができます。 http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/index.html	R334.31/K	本館

☞『日本の論点』(文藝春秋・R304・本館)には、各号に少子化についての項目があります。

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

●内閣府 <http://www.cao.go.jp/seisaku/seisaku.html>

→「政策一覧」の“子ども・子育て支援”に少子化対策を取り上げています。

●国立社会保障・人口問題研究所 <http://www.ipss.go.jp/index.asp>

→社会保障・人口問題基本調査の結果や、将来推計などが提供されています。

●総務省・統計局 <http://www.stat.go.jp/index.htm>

→日本の長期統計系列から明治期からの人口などのデータが公開されています。

●日本人口学会 <http://www.paoj.org/index.htm>

→さまざまな分野の専門家からなる人口問題研究の学会です。機関誌『人口学研究』の総目次が掲載されています。

図書館にない資料を入手するには

■直接利用

所蔵している図書館を調べ（CiNii Books など）直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。（道内 39 大学 47 館）

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満 18 歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。申込用紙に記入の上、申し込んでください。

*国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご注意ください。

国内で所蔵館がない場合でも、英国図書館にあれば、取り寄せることができます。

■リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

*絶版などの理由で購入できない場合もあります。